自己点検及び評価の内容

回答の方法および基準
回答者は評価項目についてそれぞれ6段階で回答したうえで、自由記述によって不足点、課題点等を回答する。
5:達成している　4:ほぼ達成している　3:どちらともいえない
2:取り組みを検討中　1:改善が必要　0:不明・担当外

実施責任者はこれを参考とし、緊急性を考慮したうえで、現状を認識し、問題点の解決方法を明確化する。

1.理念・教育目標	評価
1.1　理念、目的・目標および育成人材像が明文化されている。	4
1.2　理念、目的・目標および育成人材像が教員、職員および学生に周知されている	3
1.3　理念に基づく教育が行われている	3

2.学校運営	評価
2.1　日本語教育機関の告示基準に適合している。	3
2.2　① 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化されている。	4
② 短期及び中長期の運営方針と経営目標が教職員に周知されている。	4
2.3　①管理運営の諸規程が整備されている。	4
②規程に基づいた運営が行われている。	3
2.4　①意思決定が組織的に行われている。	4
②意思決定が効率的に機能している。	4
2.5　予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	4
2.6　①外部からの情報収集が効率的に行われている。	3
②外部からの情報共有化する仕組みがある。	3
2.7　学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。	4
2.8　①授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定されている。	5
②授業や運営に関する学生からの相談、苦情等に適切に対処している。	5
2.9　①業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的に行われている。	4
②業務の見直し及び効率的な運営の検討が組織的に行われている。	4

3.教育活動の計画	評価
3.1　理念・教育目標に合致したコース設定をしている。	4
3.2　教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	4
3.3　国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている。	3
3.4　教育目標に合致した教材を選定している。	4
3.5　補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	5
3.6　教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	4
3.7　教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	3

4.教育活動の実施	評価
4.1授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	5
4.2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	4
4.3 開示されたシラバスによって授業を行っている。	5
4.4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	5
4.5 理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っている。	4
4.6 学生の自己評価を把握している。	4
4.7 ①個別学習指導等の学習支援担当者が特定されている。	3
②個別学習指導等の学習支援担当が適切に行われている。	4
4.8　特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。	4

5. 成績判定と授業評価	評価
5.1 ①判定基準及び判定方法が明確に定められている。	4
②判定基準と判定方法を開示している。	4
③判定が適切に行われている。	4

5.2 成績判定結果を的確に学生に伝えている。	4
5.3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	4
5.4 学生による授業評価を定期的に実施している。	4
5.7 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。	3

6.教育活動を担う教職員

	評価
6.1 校長、主任教員、本務等教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	4
6.2 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	3
6.3 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	5
6.4 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしている。	4
6.5 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	4
6.6 教員及び職員の評価を適切に行っている。	4

7.教育成果

	評価
7.1 入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	5
7.2 修了・卒業の判定を適切に行っている。	5
7.3 日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	5
7.4 卒業又は修了後の進路を把握している。	5
7.5 卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	4

8.学生支援

	評価
8.1 学生支援計画を策定し、支援体制を整備している。	4
8.2 生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、これらの者を学生及び教職員に周知している。	4
8.3 日本社会を理解し、適応するための取組を行っている。	5
8.4 ①留学生活に関するオリエンテーションを入学期の適切な時期に実施している。	4
②留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に実施している。	
8.5住居支援を行っている。	5
8.6 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	5
8.7 健康、衛生面について指導する体制を整えている。	5
8.8 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している。	5
8.9①感染症予防に努め、設備および支援を行動指針を定めている。	5
②感染症予防のための設備および行動指針について教職員およぼ学生に周知している。	
8.10①重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の対応を定めている。	5
②重篤な病気や傷害のあった場合の対応、および感染症発生時の対応について教職員および学生に周知している。	4
8.11①交通事故等の相談体制を整備している。	5
②交通事故発生時の相談体制を教職員および学生に周知している。	
8.12①緊急時の連絡体制および行動指針を定めている。	4
②緊急時の連絡体制および行動指針を教職員および学生に周知している。	5
8.13 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に実施している。	4
8.14防災設備を整え防災用品を備蓄している	5
8.15防災、防犯、疫病予防についての専門家による指導を行っている。	5
	5

9.進路に関する支援

	評価
9.1 進路指導担当者を特定している。	4
9.2 学生の希望する進路を把握している。	5
9.3 進学に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	4
9.4 入学時からの一貫した進路指導を行っている。	4
<課題・改善策>	

10.入国・在留に関する指導及び支援

	評価
10.1 入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	4

10.2 担当者は、研修受講等により最新、かつ、適切な情報取得を継続的に行っている。	4
10.3 地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置している。	5
10.4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	4
10.5 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	4
10.6 在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	3
10.7 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。	5
10.8 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。	5

<課題・改善策>

11.教育環境	評価
11.1 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	5
11.2 授業時間外に自習できる部屋を確保している。	5
11.3 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	4
11.4 視聴覚教材や IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	4
11.5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	5
11.6 同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	5
11.7 法令上必要な設備等を備えている。	5
11.8 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	5
11.9 バリアフリー対策を施している。	2

12.入学者の募集と選考	評価
12.1 理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	4
12.2 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	4
12.3 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	2
12.4 ①海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行っている。	3
②海外の募集代理人（エージェント等）に募集活動が適切に行われていることを把握している。	3
12.5 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	4
12.6 ①入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認している。	4
②志願者について、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うように勤めている	5
12.7 ①入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認している。	5
②受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	3
12.8 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	5
12.9 関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。	5

13.財務	評価
13.1 財務状況は、中長期的に安定している。	4
13.2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	3
13.3 適正な会計監査が実施されている。	5

14法令遵守	評価
14.1 法令遵守に関する担当者を特定している。	5
14.2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。	4
14.3 個人情報保護のための対策をとっている。	4
14.4 地方出入国在留管理局、その他関係官公庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている。	3

15.地域貢献・社会貢献	評価
15.1 学校のの資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	3
15.2地域の行事に参加し、社会の一員としての役割を果たしている。	4
15.3 学生のボランティア活動の支援を行っている	1
15.4自治体や他団体と提携し、地域の国際交流の推進に貢献している。	4

公表
評価結果を毎年4月,10月に学校ホームページ上で公表する。